

まちづくり部会



3つのワーキンググループが活動を開始しました！

まちづくり部会が発足して約半年、活動内容の具体化に向けた議論を経て、

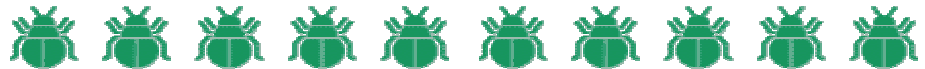
安心・安全ワーキンググループ

うるおい・緑ワーキンググループ

美化活動ワーキンググループ

の3つのグループが活動を開始しました。いまは、課題を把握するために、関係者から話を聴いたり、現地調査を行ったりしています。10月15日(金)18時30分から「枚方の安全を守ろう」と題した講演会(講師・枚方警察署生活安全課長)を開催します。(詳細はホームページ“イベント情報”をご覧ください)また、11月6日(土)の天の川大掃除にはまちづくり部会がまとめ役となりネットワーク会議として参加する予定です。

環境教育サポート部会



磯島高校版EMS(仮称)構築プロジェクトチームの参加者を募集します！

- システム研究WGでは9月4日ISO14000sの監査システムについて、服部静枝先生(京都精華大学)をお招きして学習会を開きました。
- 磯島高校では学校版EMS(環境マネジメントシステム)の構築に着手する予定であり、これに協働するプロジェクト・チームを立ち上げました。約半年後の運用開始をめざしています。現在、参加者募集中です。
- 小学生版環境教育副読本の検討プロジェクト・チームでは、現在大阪府内各市発行の副読本を収集中です。入手後は、本を読み合わせ、内容などを比較検討します。副読本を通じて子どもにどんなメッセージを伝えるのがよいのか、提案する予定です。小学生の環境教育に関心をお持ちの方、参加をお待ちしています。



システム研究WG学習会の様子

運営委員会



エコフェアで存在をアピールし、ネットワークの輪を拡げていきましょう！

秋のエコフェアが近付いてきました。報告できるほどのものはさしてありませんが、発足して良かったと、会員はもとより市民の皆さんに思ってもらえる活動を次年度行うためにも、ここでしっかり存在をアピールしネットワークの輪を拡げていきましょう。しかし、どうやって？ が、なかなか難しいところで・・・ どんな企画にするか頭を悩ませています。(^^)



それに加えて、次年度の活動計画を立てる時期に入ってきました。新たな活動としては、ネットワーク会議の役割である「枚方市環境基本計画の点検、評価、見直し」に取りかかる準備を始めます。これは、植田教授を囲んで、じっくりと腰を据えた取り組みとなる予定です。

特集・部会紹介 公共交通部会



3つの視点で3つのテーマに取り組みます！

環境への負荷の少ないバスや自転車が、もっと利用されるようにするにはどうすればよいのでしょうか。ドア・ツウ・ドアのマイカーに代わる交通手段をどう用意するか、徒歩・バス・自転車・鉄道を、距離別、目的別にどう組み合わせ整備すれば、マイカーに備わる利便性・快適性に近づけることができるかが大きな課題です。

3つの視点（市民のやれること・行政のやれること・事業者のやれること）で、3つのテーマ（交通全般・自転車・バス）に、取り組み、市民、行政、事業者それぞれの役割と連携方策について研究し、提言し、実現へ向けてコーディネートを行います。

部会活動

月1回の部会ミーティングかフィールドワークと、間に各グループのミーティングを行います。

枚方市の公共交通の利用動向

- ・平成7年から平成12年の動きをみると、枚方市では、人口は少し増加しているが、枚方市内の鉄道駅の乗降客は減少している。
- ・徒歩や公共交通（鉄道・バス）を利用して移動する人が少なくなり、マイカーを利用する人が増加しているとともに、社会情勢としても失業率が増加するなどの公共交通利用の減少要因が考えられる。
- ・市内居住の定期券所有者の鉄道までの端末交通手段をみても、徒歩やバスが減少し、一方、女性の自動車免許の保有率の増加により、駅まで車での送迎が増える傾向にある。

バスの利用をもっと増やすにはどうするか？

- ・人々の環境への意識に訴える。
- ・バスをより便利にするようにバス会社と共に考える。
- ・商店街で、買い物客にバス券を渡すなどのインセンティブ
- ・必要なところでは車を制限する。

などの方策を検討していきます。

自転車で走りやすいまちづくりを！

健康的で省エネルギーの自転車ですが、自転車の走れるところは、法的にも明確でなく、時には邪魔者扱いされたりします。自転車で走りやすいところのマップづくりや、自転車で走りやすくする改善提案などを行っていきます。写真は、穂谷川沿い自転車道のフィールドワークを行ったときのものです。



穂谷川沿い自転車道

コラム：公共交通利用の教育的効果

小学校に入学してくる子どもたちが、以前に比べウロウロ歩き回るなど好き勝手をし、1・2年生ですでに授業が成立しがたくなってきています。参観日にそこかしこでおしゃべりやビデオの撮影に夢中になる親の姿を見れば、さもあらんと納得できます。どうやら、わがまま勝手が許される私的空間意識をそのまま公共空間に持ち込んでいるようですね。しかし、社会にはルールがあり、人は「公共マナー」を身に付ける必要があります。

さて、どうすればよいのでしょうか。

「公共マナーを学ぶ」その機会を子どもたちに与えるのは、実は簡単なことなのです。マイカー利用を控え、公共交通を利用する。そうすれば、限界ある存在だということを実感し、さまざまな状況にある人に接する機会が生まれ、わがまま勝手は許されないという社会勉強ができます。

ドア to ドアの快適な暮らしから、ほんの少しシフトしてみませんか？

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーに掲載している募集の申し込みは事務局（枚方市役所環境総務課内）までご連絡ください。
072・841・1221代

“天の川大清掃”に参加しませんか！

美しい郷土「ひらかた」を次世代に残すため、一昨年から天の川再生実行委員会主催で行われている“天の川大清掃”に今回、ひらかた環境ネットワーク会議として参加することになりました。

天の川を4つに分けて清掃を実施します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：11月6日（土）

9時45分受付開始 10時開会

雨天の場合は7日に延期

詳細は別添チラシを参照ください



（まとめ役：まちづくり部会）

ロゴ募集

ひらかた環境ネットワーク会議のロゴ募集

「ひらかた環境ネットワーク会議」のロゴを募集します！シンボルマークとして親しみやすいロゴを考えてください。（締め切り11月末まで）

採用者には記念品を差し上げます。

会員を募集しています

一緒に枚方を住みよい街にしませんか

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。入会を希望される方は事務局へ、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。



“地球交響曲～第五番～”を上映します！

（龍村 仁監督作品）

龍村仁監督がライフワークとして撮り続ける映画『地球交響曲』は、地球環境の美しさ、大切さを訴えるだけでなく、一人ひとりの「こころ」のあり方を問う素晴らしい映画です。今夏『第五番』が完成したのを受け、環境保全の輪を市内全域に広げるため、枚方市とネットワーク会議を含む枚方上映実行委員会が、今回の上映会を企画しました。皆様も是非一度ご覧になってみてください。

日時：12月2日（木）開場 18時 開演 18時半

会場：枚方市民会館大ホール

料金：前売り 1,000円 当日 1,200円 全席自由

（大人同伴小学生以下無料）

チケット販売：10月中旬～

枚方市役所環境総務課、各公民館等にて販売

問い合わせ先：事務局

（まちづくり部会主催）

“犯罪と環境を考える講演会”

枚方市内の犯罪概要や防犯の取り組みなどについて、警察の方からお話を伺います。是非ご参加ください。

講師：枚方警察署生活安全課長 都瑠康徳氏

日時：10月15日（金）午後6時30分～

会場：枚方市民会館 2階 第2集会室

「環境のへえ～」Vol.2

『ディスポーザー（生ごみ粉碎機）の新システム』

ディスポーザーは台所の排水口部分に取り付けて砕いた生ごみを直接流すことができます。これまでのような単体での使用は下水を汚し、環境に大きな負荷を与えます。しかし、現在多くの自治体では、生ごみを微生物で分解処理する排水処理槽とディスポーザーを組み合わせた処理システムの利用を勧めています。生ごみを減らせて環境に良いシステムが急速に広まっています。

（日本コパック㈱HPより）

ただ、環境に対する意識の低下など、問題も出てきそうですね。皆さんはどう思われますか？

廃食用油や廃オイルの燃料化に取り組んでいます

当社は昭和 44 年設立の製缶業の鉄工所です。製缶業で培ったノウハウと外部の専門家と共同研究の成果を結びつけ、商品開発を行ってきました。

現在は、廃食用油リサイクル還元装置の研究を愛媛大学とともにしており、国内約 10 か所で実施試験の結果、廃食用油が軽油の代替燃料として使用可能となる実証を得られました。

従来の BDF(バイオ利用のディーゼル燃料)は、廃食用油に強アルカリを混ぜてグリセリンを分離し、強酸で中和水洗いした後、できた物を利用する方法でした。

また、製造装置の大型化や危険な薬品を使用するため、廃水処理や製造にコストもかかり、グリセリンと分離する際にきれいに分離できず、使用に難点がありました。

これに対し、本装置はゼロエミッション(埋め立て廃棄物ゼロ)を目標に、使用後は有機肥料としてリサイクルできる人工ゼオライト(火力発電所の石炭灰を利用)のイオン化による吸着効果と、網の目構造によるろ過効果により、廃食用油の酸

化・変質した部分を効率良く改質し、燃料化しています。

これまで使い道の少なかった自動車や油圧機械から出る廃オイルも、燃料化に取り組んでいます。

災害時や非常時のディーゼル発電機の燃料及びバイオマス発電の燃料に有効活用できます。

今後この装置を普及させるための課題として、市民レベルでの廃食用油回収協力がどれ位得られるかがキーポイントになると考えています。

ぜひ会員の皆様のご賛同とご協力を頂きたいです。

なお当社では、本年度大阪高専にて、バイオマス発電装置搭載のレスキューロボットの製作が実施され、その電源としても利用できるバイオマス発電機も現在製作中です。



オイルクリーナー

編集後記

コンビニエンスストアで買い物をすると、レジで「袋にお入れしましょうか?」と必ず聞かれます。つい「はい」と答えてしまい、お菓子1個、ジュース1本でも丁寧にレジ袋に入れてもらう私でした。しかしネットワーク会議に参加し、環境にやさしい生活を送っている多くの会員の話をうかがうにつれ、今まで何も考えずに「はい」とレジ袋を受け取っていた自分を恥ずかしく思うようになりました。今では「いいえ」とはっきり断るようになってきました。ちょっとしたことですが、この小さな一歩を大切にしていきたいです。(鍛冶谷 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第3号

平成 16 年 10 月 1 日発行(年 4 回発行)

発行: ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町 2 丁目 1 - 20
枚方市役所環境総務課内

電話 072-841-1221(内線 966)

FAX 072-841-3039

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者: 谷崎 利男

編集責任者: 鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

